



多摩市立瓜生小学校

瓜生小だより



令和5年度 第7号
令和5年 11月1日

地道な積み上げを日常に生かす

校長 水野 裕司

先週末のことです。職員室前の中央階段が落ち葉や切れた弦でとても汚れていました。そこへ、1年担任が、「すみませ〜ん。あとで片付けます。」と申し訳なさそうに階段を上がってきました。この汚れは、1年生が生活科の学習で朝顔の弦を使って何かを作ろうと、玄関から教室まで弦を運んだ跡でした。私は、担任に「ここは、6年生の清掃場所だから、1年生から6年生に掃除のお願いをさせたらどうか。」と話しました。給食終了間際に、担任に話はできたか聞きました。担任の返事は、「1年生から掃除のお願いだけではなく、自分たちも掃除をした方がいいのではないか。という意見が出たので、6年生と一緒に掃除をすることになりました。」でした。私は、1年生に「一本取られた！」と思いました。いつの間にか、お世話をしてもらうだけの1年生から、一緒に活動する1年生に成長してい

たのです。

掃除の時間には、6年生にやり方を教えてもらいながら一生懸命に階段を清掃する1年生の姿がありました。

瓜生小学校では、毎月計画的にたてわり班遊びをするなどして、異年齢の交流を行っています。今回は、1年生の考えで自然発生した「たてわり清掃」でしたが、地道な取り組みが、日常生活に生かされたとても素敵な時間となりました。

さて、11月10日（金）11日（土）実施の作品展が来週に迫ってきました。子供たちは、立体作品や家庭科作品の仕上げに一生懸命取り組んでいます。また、6年生が中心となり、会場の準備も進み、これから作品が体育館に飾られます。創造性豊かな作品をぜひご鑑賞ください。多くの方のご来場をお待ちしています。

「学校に持ってくるもの」についてのお願い

10月30日（月）に行われた後期の始業式で生活指導主任より、以下のことを指導しました。ご家庭でもお子さんと話し合ってくださいようお願いいたします。

「瓜生小の約束」には、「学習に必要なものは、学校に持ってきません。」とあります。瓜生小学校では、何を持ってきてはいけない、何は持ってきてよいと、一つ一つ細かく決めていません。皆さんに、「これは、学習に必要なものなのか」と考える力をつけてほしいからです。今一度、自分の持ち物について、本当に学習に必要なものかどうか、考えてみてほしいと思います。

最近、ランドセルの脇に付けているキーホルダーなどが、ロッカーに入りきらずに、垂れ下がっている様子が見られます。学校のロッカーは、ランドセルが入るギリギリの大きさです。無理にランドセルを入れようとするとう脇に付けたものが引っかかり、破損してしまうのではないかと心配になってしまいます。また、気付かずに誰かがひっかけて壊れてしまうことも考えられます。一方で、誰かがわざと壊したのでは等、不安や心配になることもあります。更に、壊れた状況を聞き取るために、授業が進まなくなったり、楽しい休み時間がなくなったりと、学校生活にも影響が出てくる場合があります。このようなこともご理解いただけるとありがたいです。